

宮崎海上保安部長挨拶

令和5年4月1日付けで宮崎海上保安部長に就任しました横内です。

平素より、宮崎海上保安部の業務に対し、格別なご理解とご支援をいただいておりますこと、誠に厚く御礼申し上げます。

出身は宮崎市佐土原町で、平成11年10月からの約2年半、当時の油津海上保安部の巡視船むろとや巡視船おおよどに乗船勤務しておりましたので、21年ぶりに故郷へ戻ってまいりました。

宮崎は温暖な気候であり、海では、漁業や物流の経済活動のほか、釣りやサーフィンなどのマリレジャーが盛んです。

宮崎海上保安部は、日向灘から鹿児島県の一部を含む志布志湾までの宮崎県全域の海を管轄とし、その海岸線の長さは約400キロメートル、海域の面積は約2万平方キロメートルにも及び、海の安全と治安の確保が、最も重要な任務になります。

宮崎海上保安部は、平成19年に油津海上保安部から名称を変更しましたが、油津海上保安部として業務をスタートさせたのは昭和25年であり、令和2年6月1日には、保安部発足70年の節目を迎えております。

この間、当部では、治安の維持、海上交通の安全確保、海難救助、海上災害の防止、海洋環境の保全など、多岐にわたる業務を実施してまいりましたが、近年、自然災害は激甚化する傾向にあり、県内においても、台風や記録的豪雨による被害が度々発生しているほか、南海トラフ地震による地震・津波の被害も大きく懸念されているところです。

そのような中、昨年12月、宮崎海上保安部に巡視船きりしまが新たに就役しました。

先代の巡視船きりしまは、平成13年12月に発生した九州南西海域不審船事案において、北朝鮮の工作船に勇猛果敢に対じし業務を完遂した、まさに歴史にその名を残す巡視船でありましたが、最新鋭の装備を身にまとった新しい巡視船きりしまも、先代から受け継いだその名に負けぬよう、これから宮崎の海はもちろんのこと、日本周辺の海の安全・安心を守ってまいります。

この春、海上保安友の会（海を愛する仲間として、会員相互や海上保安官との交流を通じ、海上保安官の仕事に理解を深め、もっと海を好きになっていただく会）宮崎地方支部に、大勢の方が新規入会していただきました。

このように、宮崎海上保安部の果たすべき役割や、地域住民の皆様の期待はますます大きくなってきているところ、宮崎海上保安部は、正義仁愛の精神のもと、職員一丸となって任務を全うする所存でございますので、今後とも宮崎海上保安部に対する温かいご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。



宮崎海上保安部長

横内 伸明